

(参考) 新旧対照表

現行	改正
<p>1、2 (略)</p> <p>3 請負者の費用負担 請負者が会議に出席するに当たり要する費用は、請負代金のうち共通仮設費率（技術管理費）により充当するものとする。</p> <p>4 設計者との契約</p> <p>(1) 契約の名称 「〇〇工事連携会議委託」とする。</p> <p>(2) 契約の相手方及び方法 対象工事に係る詳細設計等を実施した設計者との随意契約とする。</p> <p>(3) 支出費目及び積算方法</p> <p>ア 設計者との契約に関する支出科目は、「委託料」とする。補助事業における支弁費目は、「測量及び試験費」とする。</p> <p>イ 費用の積算は、次のとおりとする。</p> <p>(ア) 人件費 主任技師0.5人/回、技師A0.5人/回を標準として計上する。なお、対象工事に係る測量又は地質調査を実施した管理技術者等を会議の構成員とした場合における人件費については、この限りでない。</p> <p>(イ) 旅費交通費 設計業務等標準積算基準書の「旅費交通費」に基づき計上する。</p> <p>(ウ) 諸経費・技術経費 計上しない。</p> <p>(4) 契約手続き</p> <p>ア 支出負担行為決議書には業務委託契約の概要、積算内訳書、業務委託仕様書、見積依頼書（様式1）等を添付する。</p> <p>イ 設計者に業務委託仕様書及び見積依頼書（様式1）を送付する。</p> <p>ウ 設計者から提出された見積金額が予定価格の範囲内であるときは、契約の相手方として決定する。</p> <p>(5) 業務完了届の提出 設計者は会議終了後、遅滞なく業務完了届（様式2）を作成のうえ</p>	<p>1、2 (略)</p> <p>3 <u>受注者</u>の費用負担 <u>受注者</u>が会議に出席するに当たり要する費用は、請負代金のうち共通仮設費率（技術管理費）により充当するものとする。</p> <p>4 設計者との契約</p> <p>(1) 契約の名称 「〇〇工事連携会議委託」とする。</p> <p>(2) 契約の相手方及び方法 対象工事に係る詳細設計等を実施した設計者との随意契約とする。</p> <p>(3) 支出費目及び積算方法</p> <p>ア 設計者との契約に関する支出科目は、「委託料」とする。補助事業における支弁費目は、「測量及び試験費」とする。</p> <p>イ 費用の積算は、次のとおりとする。</p> <p>(ア) 人件費 主任技師0.5人/回、技師A0.5人/回を標準として計上する。なお、対象工事に係る測量又は地質調査を実施した管理技術者等を会議の構成員とした場合における人件費については、この限りでない。</p> <p>(イ) 旅費交通費 設計業務等標準積算基準書の「旅費交通費」に基づき計上する。</p> <p>(ウ) <u>諸経費</u> <u>その他原価及び一般管理費等を設計業務等標準積算基準書に基づき計上する。</u></p> <p>(4) 契約手続き</p> <p>ア 支出負担行為決議書には業務委託契約の概要、積算内訳書、業務委託仕様書、見積依頼書（様式1）等を添付する。</p> <p>イ 設計者に業務委託仕様書及び見積依頼書（様式1）を送付する。</p> <p>ウ 設計者から提出された見積金額が予定価格の範囲内であるときは、契約の相手方として決定する。</p> <p>(5) 業務完了届の提出 設計者は会議終了後、遅滞なく業務完了届（様式2）を作成のうえ</p>

発注者に提出する。

<参考資料>

- ・ 様式1 見積書の提出について（通知）
- ・ 様式2 業務完了届（工事連携会議実施記録簿）

発注者に提出する。

<参考資料>

- ・ 様式1 見積書の提出について（通知）
- ・ 様式2 業務完了届（工事連携会議実施記録簿）

5 適用年月日

平成28年7月15日から適用する。

様式1

(案)

平成 年 月 日

見積徴収業者 殿

富山県知事 ○○ ○○

見積書の提出について (通知)

下記の委託を発注したいので、見積書を提出してください。

記

委託名	○○工事連携会議委託					
委託概要	工事連携会議への参加、設計意図の伝達、留意点等の確認 (詳細別添、業務委託仕様書参照)					
設計内容	項目	数量	単位	単価(円)	金額(円)	備考
	人件費	主任技師	0.5	人		
		技師A	0.5	人		
	旅費交通費	ライトバン運転	1.0	日		日当たり 運転時間1時間
		消費税相当額				
	計					
委託期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)					
見積条件	人件費として計上している技術者は、○○県○○市より当センターへ来所。					
その他	見積の宛名は「富山県知事 ○○ ○○」として下さい。					
見積書提出期限及び提出先	平成 年 月 日 ○○土木センター ○○班 (役職・氏名)					

様式1

(案)

平成 年 月 日

見積徴収業者 殿

富山県知事 ○○ ○○

見積書の提出について (通知)

下記の委託を発注したいので、見積書を提出してください。

記

委託名	○○工事連携会議委託					
委託概要	工事連携会議への参加、設計意図の伝達、留意点等の確認 (詳細別添、業務委託仕様書参照)					
設計内容	項目	数量	単位	単価(円)	金額(円)	備考
	人件費	主任技師	0.5	人		
		技師A	0.5	人		
	旅費交通費	ライトバン運転	1.0	日		日当たり 運転時間1時間
		直接原価				
		その他原価				
		一般管理費等				
		委託価格				
		消費税相当額				
		計				
委託期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)					
見積条件	人件費として計上している技術者は、○○県○○市より当センターへ来所。					
その他	見積の宛名は「富山県知事 ○○ ○○」として下さい。					
見積書提出期限及び提出先	平成 年 月 日 ○○土木センター ○○班 (役職・氏名)					